

令和元年度 基本事業評価シート（平成30年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち

04 上下水道事業の安定持続

基本事業 04 健全な上下水道事業の経営

主管課： 上下水道課

關係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 上下水道事業	意図（どのような状態にしたいのか） 効率的な上下水道事業の経営を行う。
----------------------------	--

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

総収支比率（水道事業）（年間）		（％） 上下水道課			
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
105.20	108.10	108.70	103.00	103.00	103.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度との比較では0.6ポイント、目標値との比較では5.7ポイント上回っており、経営状況は健全な水準にあります。 （原因）収益（収益的收入）及び費用（収益的支出）の総額は、何れも昨年度よりも増加しています。今年度は、水道計画策定委託料や検定満期による量水器の取替え等で費用が4,021万円の増加となったものの、水道料金及び分担金の増加により収益が5,254万円増加したため、当年度純利益が1,233万円増加したことから、総収支比率が向上しました。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

総収支比率（下水道事業）（年間）		（％）		上下水道課	
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
112.90	116.20	110.20	110.00	110.00	110.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度との比較では6ポイント下回りましたが、目標値との比較では0.2ポイント上回りました。収益的収支では利益（黒字）が生じ、経営状況は健全な水準にあります。 （原因）収益（収益的收入）及び費用（収益的支出）の総額は、何れも昨年度よりも増加しています。今年度は、下水道使用料及び国庫補助金の増加により収益が9,640万円増加したものの、下水道計画策定委託料や前倒しで実施した老朽化マンホール蓋の交換等で費用が1億7,596万円の増加となり、当年度純利益が7,956万円減少したため、総収支比率が低下しました。			
対前年度	低下				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	249,266	156,147	235,327	213,186	181,020
人件費	31,073	34,001	40,652	0	0
トータルコスト	280,339	190,148	275,979	213,186	181,020

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

今年度も、水道事業・下水道事業ともに経営状況の健全な水準を維持することができるよう、適正な事業管理及び予算執行に取組み、安定した経営に取組みました。 節水器具の普及や節水意識の浸透に加えて、当面は大規模開発が見込めないため、給水収益や分担金等の大幅な増加が期待できない中、老朽化施設における更新費用の増加が課題であり、平成30年度に策定した経営戦略に基づき、健全かつ安定的な経営に努めていきます。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]